3-228-965-**04** (1)

CD ラジオ カセットコーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CFD-E75TV

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

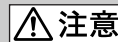
万一、異常が起きたら

❶ **電源を切る**
❷ **電源プラグをコンセントから抜く**
❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

目次

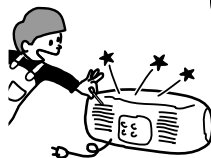
⚠警告

火災

感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

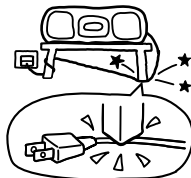
内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

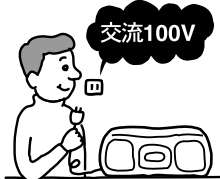
万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

指示

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

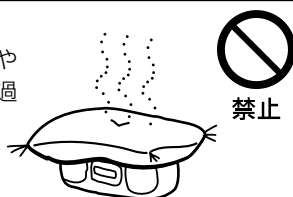
感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

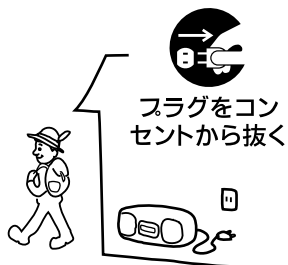
通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを折りたたんでください。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

⚠注意 つづき

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

安定した場所に置く

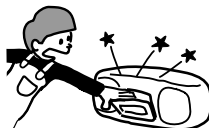
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

幼児の手の届かない場所に置く

CDトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ•破裂•発熱•発火•誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

アルカリ電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

- アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときには、医師に相談してください。

⚠注意

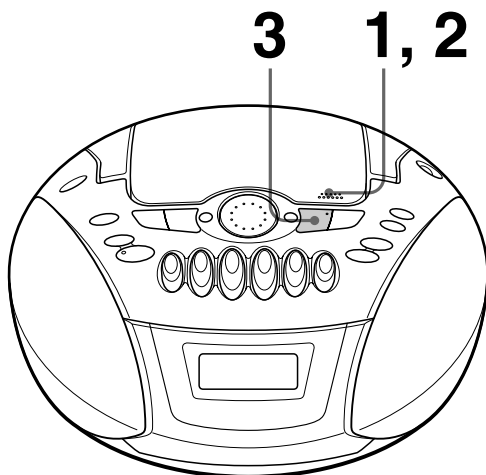
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときは取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

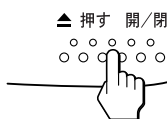
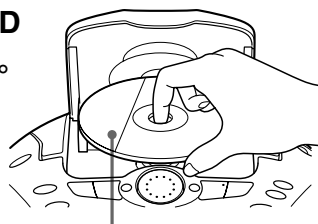
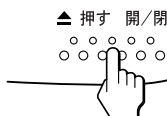
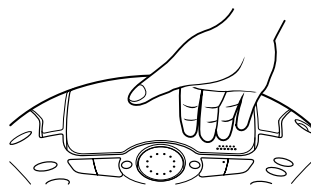
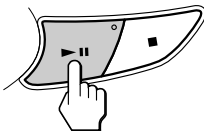
この取扱説明書について

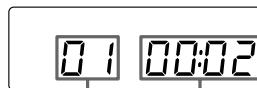
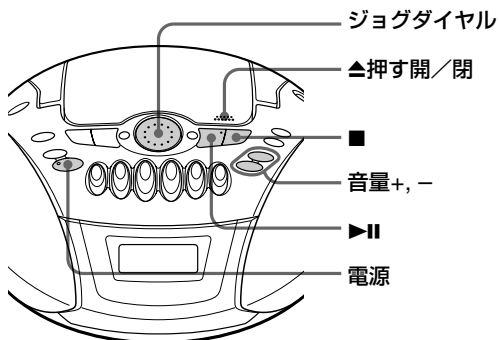
本書では、本体での操作を中心に説明しています。リモコンでの操作のしかたは、本体と違う場合に明記してあります。
「各部のなまえ」（37、38ページ）も併せてご覧ください。

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- CDラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

CDを聞く

準備➡電源コードを接続してください(28ページ参照)。

1

押す開／閉を押して、CDぶたを開け、CDを入れる。

2

CDぶたを閉める。

3

►IIボタンを押す。
(リモコンでは►ボタンを押す。)

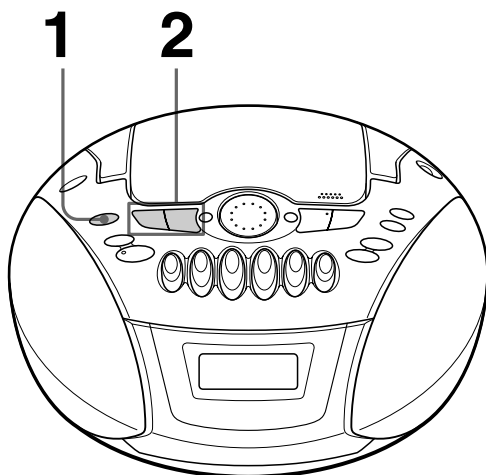
自動的に電源が入り、再生が始まります。

その他の操作

（　）内はリモコンのボタンです。

こんなときは	押すボタン／操作
音量を調節する	音量＋、–
再生を止める	■
再生中に一時停止する	▶II（II） もう一度押すと演奏が始まる。
曲の頭に戻す	ジョグダイヤルを左へ回す。 （I◀◀ を押す。）
次の曲へ進む	ジョグダイヤルを右へ回す。 （▶▶Iを押す。）
CDを取り出す	⏏押す開／閉
電源を入/切する	電源

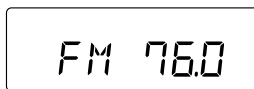
CD-R/CD-RWについて

本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。

＊CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

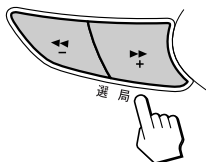
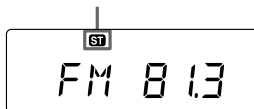
ラジオを聞く

準備➡電源コードを接続してください(28ページ参照)。

1

ラジオ バンド切換•オートプリセットボタンを押して、TV、FM、またはAMを選ぶ。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、「TV」、「FM」、または「AM」が出ます。切り換えるときは、もう一度押します。

本体表示窓

FM 76.0

2

選局–または+ボタンを押したままにし、数字が動き始めたら指を離す。

放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、選局–または+ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。

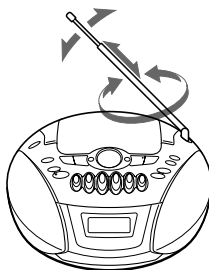
FMステレオ放送のとき出る

その他の操作

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量＋、–
電源を入/切する	電源

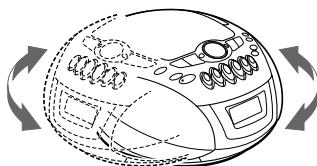
受信状態をよくする

TV、FM放送のとき

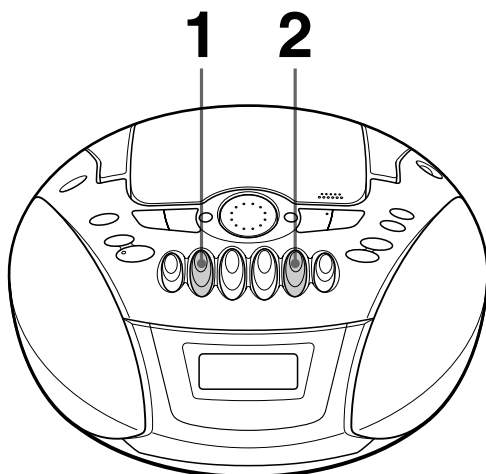
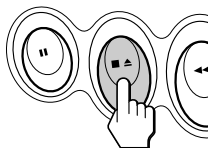
ロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。

AM放送のとき

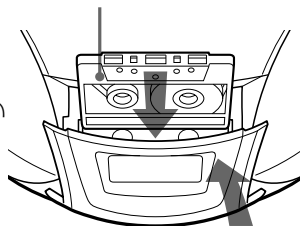
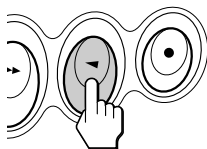
本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。

ちょっと一言

- 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AM、TVのステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、モードボタンを押して、表示窓に「Mono」を出します。音はモノラルになります。

テープを聞く －TYPE I(ノーマル)テープ専用

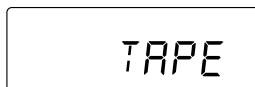
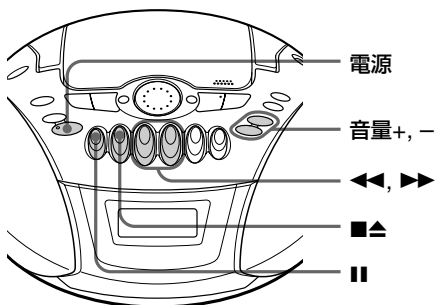
準備➡電源コードを接続してください(28ページ参照)。

1

■≜ボタンを押してカセットぶたを開け、カセットを入れる。

TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

2

◄ボタンを押す。

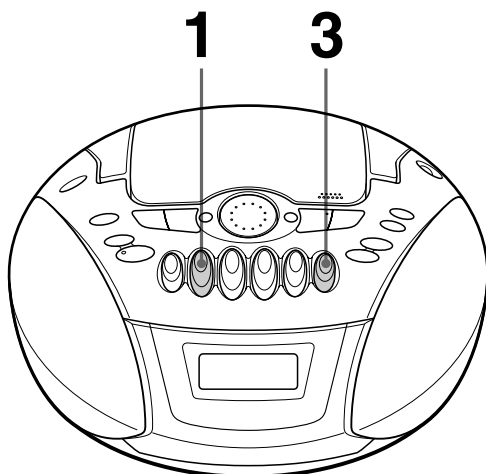
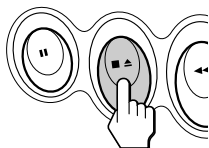
自動的に電源が入り、再生が始まります。

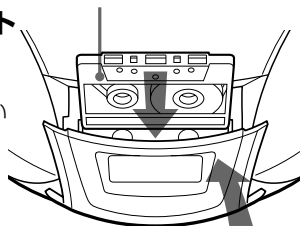
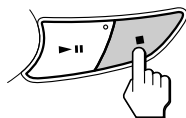
本体表示窓

TAPE

その他の操作

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量＋、–
再生を止める	■≜
早送りや巻戻しをする	◀◀または▶▶
再生中に一時停止する	❚❚ もう一度押すと演奏が始まる。
カセットを取り出す	■≜
電源を入／切する	電源

録音する－TYPE I(ノーマル)テープ専用

準備➡電源コードを接続してください(28ページ参照)。

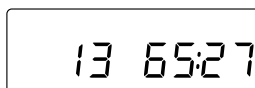
1

■⏏ボタンを押してカセットぶたを開け、録音用カセットを入れる。

TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

2

録音するものを選ぶ。

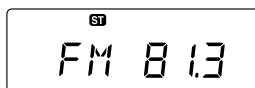
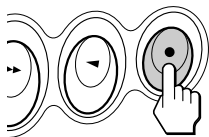
CDを録音するとき

CDを入れる(8ページ参照)。CDの■ボタンを押して、CDを録音できる状態にする。

本体表示窓

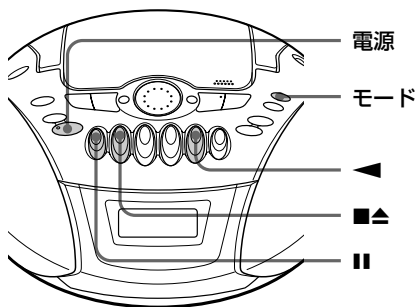
13 65:27

ラジオを録音するとき

録音する局を受信する(10ページ参照)。

ST
FM 81.3

3

●ボタンを押す。

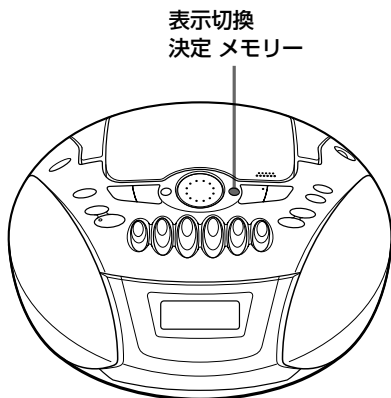
◀ボタンが同時に押され、録音が始まります。

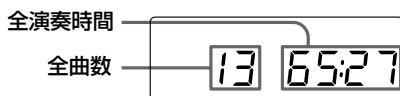
その他の操作

こんなときは	押すボタン
録音を止める	■⏏
録音を一時停止する	❚❚ もう一度押すと録音が始まる。
電源を入／切する	電源

ちょっと一言

- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変りません。
- 録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。
- AM放送を録音するとき、手順3の●ボタンを押したあとピーという雑音が出ていたら、モードボタンを押して雑音が消える状態を選んでください。
- 録音した音を消去するには
  1 音を消したいカセットを入れる。
  2 ❚❚ボタンを押す。
  3 ◀ボタンを押す。
  4 ●ボタンを押す。
  5 ❚❚ボタンを押す。

表示窓の見かた

表示窓で、CDの全曲数や全演奏時間、残りの曲数、残り時間などを調べることができます。

全曲数と全演奏時間を調べるには

停止中、表示切換•決定 メモリーボタンを押す。

残り時間を調べるには

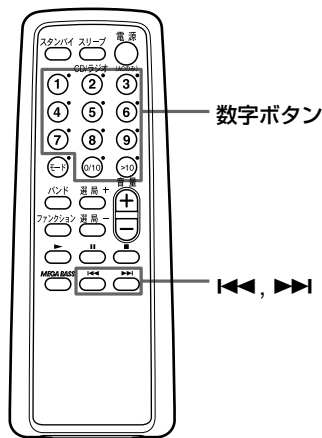
演奏中、表示切換•決定 メモリーボタンを押す。

表示	押す回数
演奏中の曲番と曲の残り時間*	1回
CD全体の残りの曲数と残り時間	2回
演奏中の曲番と演奏経過時間（通常表示）	3回

* 21曲以降の曲では、演奏中の曲の残り時間は「- -:- -」と表示されます。

聞きたい曲を選ぶ

（ダイレクト選曲／サーチ）

CDの聞きたい曲の再生を、リモコンの数字ボタンですぐに始めることができます。
また、⏮、⏭ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。

探しかた	操作のしかた
曲番で直接選ぶ（ダイレクト選曲）	曲番の数字ボタンを押す。
聞きながら探す（サーチ）	演奏中に⏭または⏮ボタンを押したままにする。（本体では▶▶または◀◀ボタンを使います。）
表示窓の演奏時間を見ながら探す（高速サーチ）	一時停止中に⏭または⏮ボタンを押したままにする。（本体では▶▶または◀◀ボタンを使います。）

ご注意

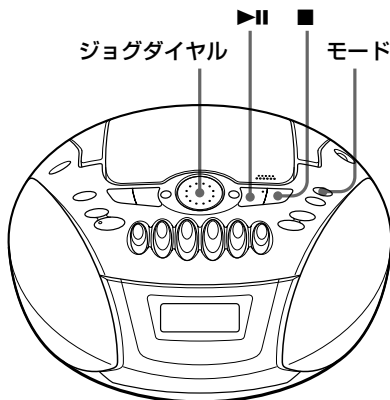
ダイレクト選曲の場合、表示窓に「SHUF」「PGM」が出ていたら、■ボタンを押して消します。

ちょっと一言

10曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。
例：23曲目を選ぶときは、＞10→2→3の順に押します。

繰り返し聞く

（リピート演奏）

CDの全曲または1曲を繰り返し聞くことができます。シャッフル演奏やプログラム演奏を繰り返すこともできます。

1 **■ボタンを押す。**

「Cd」が表示されます。

2 **次の操作をする。**

リピートの種類	押すボタン
1曲だけ繰り返す	1 モードボタンを押して「REPEAT 1」を表示させる。 2 ジョグダイヤルを回して曲を選び、▶IIボタンを押す。
全曲を繰り返す	1 モードボタンを押して「REPEAT ALL」を表示させる。 2 ▶IIボタンを押す。
順不同に繰り返す	1 モードボタンを押して「REPEAT」と「SHUF」を表示させる。 2 ▶IIボタンを押す。
プログラムした曲順で繰り返す	1 モードボタンを押して「REPEAT」と「PGM」を表示させる。 2 プログラムする（18ページの手順3参照）。 3 ▶IIボタンを押す。

リピート演奏をやめるには

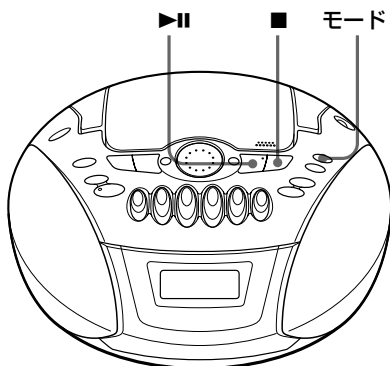
モードボタンを押して「REPEAT」表示を消します。

リモコンでは

- 本体の▶IIボタンを押す代わりに▶ボタンを押します。
- 「REPEAT 1」を選んだときは、数字ボタンを使って曲番を選びます。

順不同に聞く

（シャッフル演奏）

CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。

1 **■ボタンを押す。**
「Cd」が表示されます。

2 **モードボタンを押して「SHUF」を表示させる。**

3 **►IIボタンを押す。**
演奏が始まります。

シャッフル演奏をやめるには

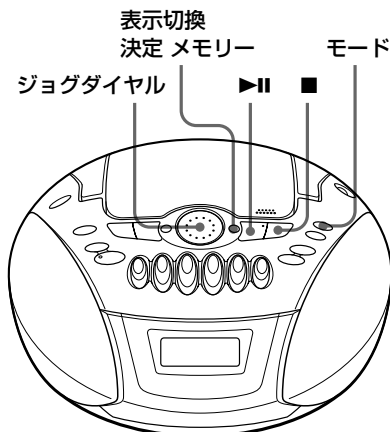
モードボタンを押して「SHUF」表示を消します。

リモコンでは

本体の►IIボタンを押す代わりに►ボタンを押します。

聞きたい曲を好きな順に聞く

（プログラム演奏）

聞きたい曲を好きな順に20曲までプログラムすることができます。

1 **■ボタンを押す。**
「Cd」が表示されます。

2 **モードボタンを押して「PGM」を表示させる。**

3 **ジョグダイヤルを回して曲番を選び、表示切換•決定 メモリーボタンを押す。**

この操作を繰り返します。

4　►❚❚ボタンを押す。

プログラムした順に演奏が始まります。

リモコンでは

1 ■ボタンを押す。
2 モードボタンを押して「PGM」を表示させる。
3 数字ボタンを押して曲番を選ぶ。
4 ►ボタンを押す。

プログラム演奏をやめるには

モードボタンを押して「PGM」表示を消します。

曲順を確認するには

停止中に、表示切換•決定 メモリーボタンを押します。押すたびに、プログラムした順で曲番が表示されます。

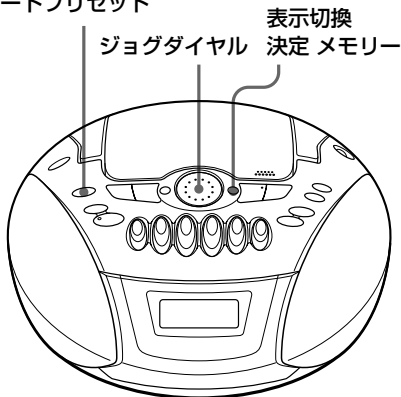
プログラムを変更するには

演奏前には1回、演奏中には2回、■ボタンを押して現在のプログラムを消してから、プログラムし直します。

ちょっと一言

- プログラム演奏が終わっても、作ったプログラムは残っています。►❚❚ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。CDぶたを開けるとプログラムの内容は消えます。
- プログラム演奏を録音するには、プログラムを作ってから、録音用カセットを入れ、●ボタンを押して録音を始めます。

放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM20局、TV、AM各10局ずつ、合計40局まで記憶できます。

1 ラジオ バンド切換•オートプリセットボタンを押して、TV、FM、またはAMを選ぶ。

2 「AUTO」が点滅するまでラジオ バンド切換•オートプリセットボタンを押したままにする。

3 表示切換•決定 メモリーボタンを押す。

プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局が自動的に記憶されます。

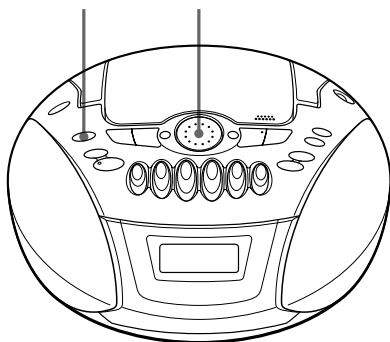
電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった放送局があるときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときは

1. ラジオ バンド切換●オートプリセットボタンを押して、TV、FM、またはAMを選ぶ。
2. 記憶させたい放送局を受信する。
3. 表示切換●決定 メモリーボタンを約2秒間押したままにする。
4. ジョグダイヤルで記憶させたいプリセット番号を選ぶ。
5. 表示切換●決定 メモリーボタンを押す。
   新しい局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

リモコンでは

1. バンドボタンを押して、TV、FM、またはAMを選ぶ。
2. 選局+または−ボタンで放送局を選ぶ。
3. 記憶させたいプリセット番号の数字ボタンを約2秒間押したままにする。
   プリセット番号が10番以降の場合は、＞10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。1の位の数のボタンを押す時は、約2秒間押してください。
   例：プリセット番号12の場合は、＞10→1の順に押したあと2を約2秒間押したままにします。

記憶させた放送局を聞く（プリセット選局）

あらかじめ記憶させておいた放送局を、簡単に選ぶことができます。

1 ラジオ バンド切換•オートプリセットボタンを押して、TV、FM、またはAMを選ぶ。

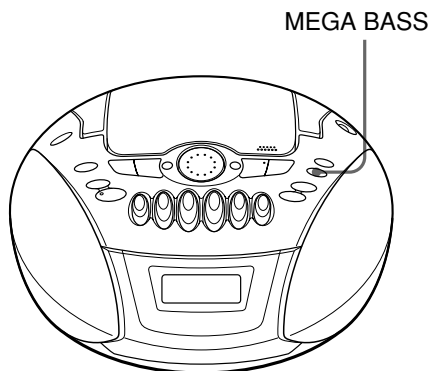
2 ジョクダイヤルを回して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

リモコンでは

1 バンドボタンを押して、TV、FM、またはAMを選ぶ。
2 記憶させたプリセット番号の数字ボタンを押す。プリセット番号が10番以降の場合は、＞10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。
例：プリセット番号12の場合は、＞10→1→2の順に押します。

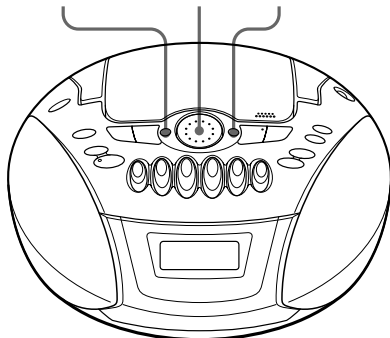
ラジオ

迫力ある重低音を楽しむ

重低音を強調することができます。

MEGA BASSボタンを押す。

「MEGA BASS」が表示されます。
通常の音質に戻すには、もう一度MEGA BASSボタンを押します。

時計を合わせる

本機の時計は、時刻を合わせるまで「- -:- -」が表示されています。

操作の前に

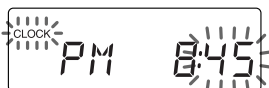
電源の準備をしてください(28ページ参照)。

1 **メニュー•アラームボタンを押して「CLOCK」を表示させ、表示切換•決定 メモリーボタンを押す。**

「時」の表示が点滅します。

2 **時刻を合わせる。**

① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、表示切換•決定 メモリーボタンを押す。

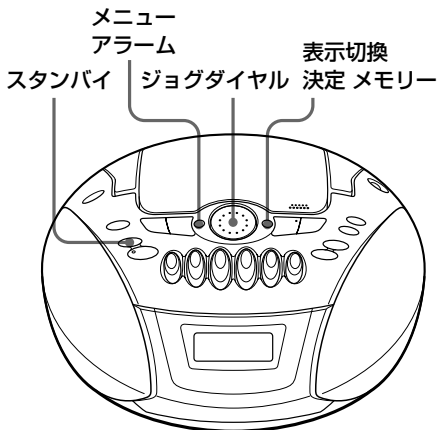
② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせる。

3 **表示切換•決定 メモリーボタンを押す。**

00秒から時計が動きます。

ちょっと一言

- 本機の時計は12時間表示です。
  真夜中 :「AM12:00」
  正午 :「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、時報サービス(117番)をご利用になると便利です。

音楽で目覚める

好きな音楽やラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。
本機の時計合わせをしてから操作してください（23ページ参照）。

操作の前に

表示窓に⏻が出ていたら、スタンバイボタンを押して消します。

1 **聞きたい音源の準備をする。**

音源	準備
CD	CDを入れる。
ラジオ	聞きたい局を受信する。

2 **メニュー•アラームボタンを押して「TIMER」を表示させ、表示切換•決定 メモリーボタンを押す。**

⏻と聞きたい音源（「Cd」または「RAdIO」）が点滅します。

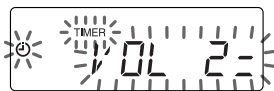
3 **ジョグダイヤルを回して聞きたい音源を表示させ、表示切換•決定 メモリーボタンを押す。**

4 **再生を始める時刻を設定する。**

① ジョグダイヤルを回して「時」を合わせ、表示切換•メモリー 決定ボタンを押す。

② ジョグダイヤルを回して「分」を合わせ、表示切換•メモリー 決定ボタンを押す。

5 **同じように再生を止める時刻を設定する。**

6 **ジョグダイヤルを回して希望の音量を表示させ、表示切換•決定 メモリーボタンを押す。**

7 **スタンバイボタンを押す。**

電源が切れ予約待機状態になり、⏻が表示されます。
予約した時刻になると自動的に再生が始まります。終了時刻になると電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

予約した内容を確かめたり、変更するには

メニュー•アラームボタンを押して「TIMER」を表示させ、表示切換•決定 メモリーボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

予約したあとでラジオなどを聞くには

電源を入れれば、通常の操作ができます。（ラジオの場合24ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時刻には、その別の局が始まります。）予約した時刻になる前に電源を切ります。

予約再生中、途中で止めるには

電源ボタンを押して、電源を切ります。

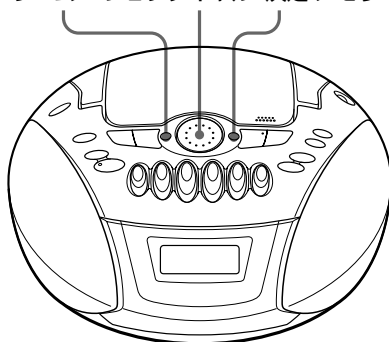
ご注意

- 24ページの手順 7 でスタンバイボタンを押す前に、◀または●ボタンが押されていないことを確認してください。
- タイマー動作中に◀または●ボタンを押すと、テープの長さが設定した時間より長いときは、設定した時間ではなく、テープの終わりで電源が切れます。

ちょっと一言

- 予約待機状態を取り消すには、スタンバイボタンを押して表示窓の⏻を消します。
- 予約内容は別の予約をしない限り保持されます。

音楽を聞きながら眠る

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。

1 聞きたい音楽の演奏を始める。

2 メニュー•アラームボタンを押して、「SLEEP」を表示させ、表示切換•決定 メモリーボタンを押す。

3 ジョグダイヤルを回して時間（分）を選ぶ。

「60」→「90」→「120」→「OFF」→「10」→「20」→「30」と変わります。

次のページへつづく

タイマー

音楽を聞きながら眠る（つづき）

スリープ機能を途中で止めるには

電源ボタンを押して、電源を切ります。

リモコンでは

スリープボタンを繰り返し押して、時間（分）を選びます。

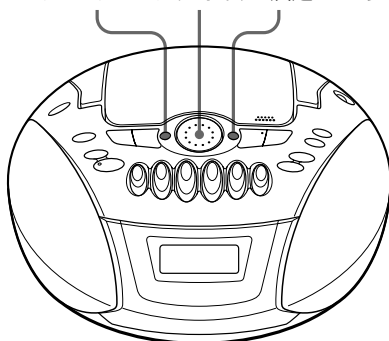
ご注意

テープを聞きながらおやすみになるときは片面のテープの長さが設定した時間より長いときは、片面の演奏が終わるまで電源は切れません。

ちょっと一言

- 目覚ましとスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましを予約してから（25ページ参照）、電源を入れ、スリープ機能を働かせます。
- 目覚ましとスリープ機能で違う音楽を聞くことができます。ただし、ラジオでは別の局を設定することはできません。
- 目覚ましとスリープ機能で違う音量を設定できます。例えば小さな音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。

アラームを鳴らす

指定した時間がたつと、ブザーまたは音楽で知らせます。キッチンタイマーなどとしてお使いになれます。

1 メニュー•アラームボタンを2秒間以上押して、「ALARM」を表示させる。

2 ジョグダイヤルを回して、アラームを鳴らす時間（OFFまたは1〜60分）を表示させ、表示切換•決定 メモリーボタンを押す。

3 ジョグダイヤルを回して、アラームの音量を選び、表示切換•決定 メモリーボタンを押す。

表示	音量
LO	小
HI	大

4 ジョグダイヤルを回して、アラームの種類を選び、表示切換•決定 メモリーボタンを押す。

表示	アラームの種類
bEEP	ブザー
MUSIC	「四季」より「春」

5 表示切換•決定 メモリーボタンを押す。

時間表示がカウントダウンを始めます。設定した時間がたつと、アラームが約20秒間鳴ります。

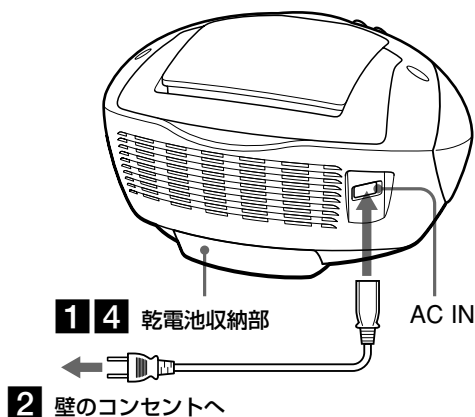
アラーム音を止めるには

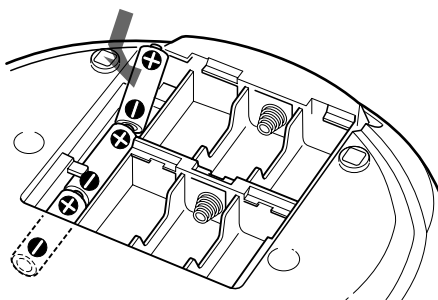
メニュー•アラームボタンを押します。

ちょっと一言

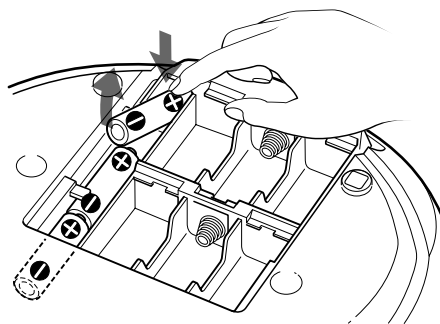
一度設定した内容は記憶されますので、次からはメニュー•アラームボタンを約2秒間押し、表示切換•決定 メモリーボタンを押すだけでカウントダウンが始まります。「ALARM」が表示されていることを確認してください。

電源を準備する

家庭用電源または、乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。
録音するときは、電力消費量が大きいため、家庭用電源でお使いください。

1 メモリー用乾電池を入れる

停電時に内蔵タイマーや放送局の記憶内容を保つためには、メモリー用乾電池を入れてお使いください。乾電池収納部は底面にあります。

単3形乾電池3個（別売り）

取り出すときは、⊕側を押します。

ご注意

乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDぶたの中でCDがずれて傷つくおそれがあります。

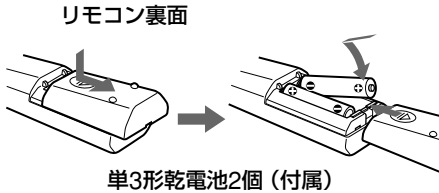
ちょっと一言

電源コードをはずし、本体用乾電池が入っていなくて、メモリー用の乾電池だけが入っている場合、表示窓の時計表示が薄くなります。これは乾電池の消耗を防ぐためです。

2 電源コードを接続する

本機のAC IN端子へ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

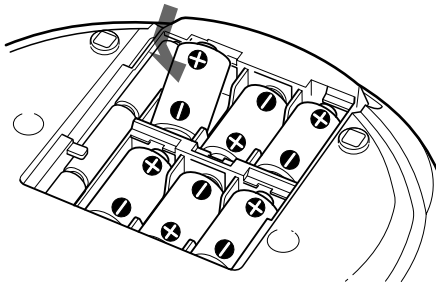
3 リモコンに乾電池を入れる

リモコン裏面

単3形乾電池2個（付属）

乾電池の交換について

乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

4 乾電池で使う

乾電池でお使いになるときは、本体から電源コードを抜いてください。

単2形乾電池6個（別売り）

乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると電源／電池ランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池をすべて新しいものと交換してください。

ご注意

- 乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDぶたの中でCDがずれて、傷つくおそれがあります。
- 乾電池でお使いの場合、リモコンで電源を入れることはできません。

ちょっと一言

乾電池のみで使用中、メモリー用の乾電池が消耗してくると、表示窓の時計表示が薄くなったり、タイマーの操作ができなくなったりします。乾電池をすべて新しいものと交換してください。メモリー用の乾電池は約6か月もちます。電源コードをつないだままで交換すると記憶内容がそのまま残ります。

使用上のご注意

取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。
  - 時計
  - クレジットカードなどの磁気カード
  - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

  また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

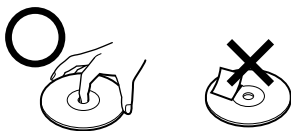
著作権保護技術付音楽ディスクについて

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

DualDiscについて

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

CDの取り扱いかた

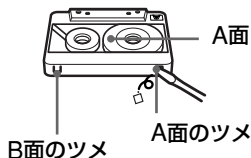
- 文字の書かれていない面（演奏面）に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。

- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

大切な録音を守る－誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。

長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、早戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは35ページに記載されているテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

共通

症状	チェック項目
電源が入らない。	• 電源コードをAC IN端子とコンセントにしっかり差し込む。 • 乾電池が正しく入っているか確認する。 • 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。 • 乾電池でお使いの場合、リモコンで電源を入れることはできません。
音が出ない。	• 表示窓に使用したい機能が表示されているか確認する。 • 音量を調節する。 • スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを🎧(ヘッドホン)端子から抜く。
雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している ➔ 携帯電話などを本機から離して使用する。

CD部

症状	チェック項目
演奏が始まらない。	• CDぶたが閉まっていることを確認する。
CDが入っているのに「no dISC」が表示される。	• CDが裏返し ➔ 文字のある面を上にする。 • CDの汚れがひどい ➔ クリーニングする。(30ページ) • レンズに露(水滴)がついている→CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。 • ■ボタンを押して「Cd」を表示させ、CDの操作ができるようにする。 • ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

次のページへつづく

CD部

症状	チェック項目
音がとぶ。 雑音が入る。	• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 • CDの汚れがひどい ➔ クリーニングする。(30ページ) • CDに傷がある ➔ CDを取り換える。 • 振動のない場所に置く。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり雑音が入ることがあります。
CDぶたの開閉ができない。	• 本機を平らな場所に置いて開閉してください。
CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。	• 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。

ラジオ部

症状	チェック項目
FM受信時、ステレオにならない。	• モードボタンを押して、「STEREO」を表示させる。
雑音が入る。	• FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。 • テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。 • このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。 • 本体用乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。

テープ部

症状	チェック項目
操作ボタンを押してもテープが動かない。	• カセットぶたをきちんと閉める。
前の録音が完全に消えない。	• 消去ヘッドをクリーニングする。（34ページ） • 本体用乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。 • TYPE II（ハイポジション）、TYPE IV（メタル）テープを使っている ➔ 録音できるテープはTYPE I（ノーマル）のみです。
録音ができない。	• カセットを正しく入れる。 • デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。
雑音が多い。 音質が良くない。	• ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。（34ページ） • ヘッドイレーサー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。（34ページ）
音が歪む。	• TYPE II（ハイポジション）またはTYPE IV（メタル）テープはお使いになれません。TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

タイマー（時計）部

症状	チェック項目
タイマーが働かない。	• 時計を正しい時刻に合わせる。 • 電源コードで使用中、停電があった。 • ⏲表示が出ていることを確認する。

リモコン

症状	チェック項目
リモコンで操作ができない。	• リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。（29ページ） • リモコンを本体へ向けて操作する。 • 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 • 本体リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっていたら、当たらないようにする。

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記以外で動作が正常でないときは、電源コードをはずし、すべての乾電池を取り出し、表示窓の表示がすべて消えてから、再び乾電池を入れ、電源コードをつないでください。正しく動く場合があります。それでも正しく動かないときは、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご連絡ください。

お手入れ

レンズのクリーニング

汚れた手でレンズに触れてしまったり、レンズの汚れが原因で音とびが起きたり、演奏できなくなったときは、別売りのCDレンズクリーニングキットKK-91を使って、レンズをクリーニングしてください。

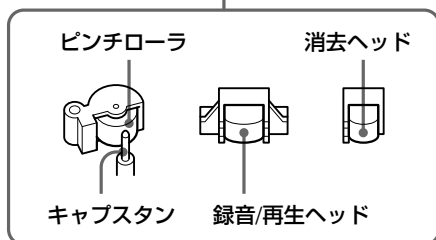
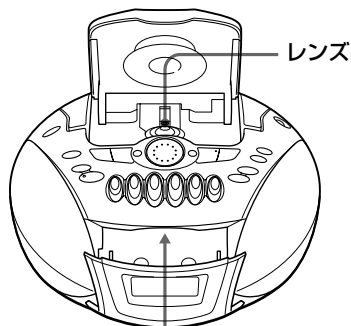
ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。よりよい音でステレオ録音、再生を楽しむために、およそ10時間使うごとに別売りのクリーニングキットKK-41を使ってクリーニングすることをおすすめします。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、図に示したテープが触れる面を軽く拭きます。
カセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。

録音/再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、別売りのヘッドイレーサー・クリーナーHE-6Cを使って録音/再生ヘッドに消磁をしてください。

キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではCDラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月 - 金 9:00〜18:00まで
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 - 20,000Hz +0/–1dB

ラジオ部

受信周波数	TV: 1 - 12ch FM: 76 - 108MHz AM: 531 - 1,629kHz
アンテナ	TV/FM: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

カセットデッキ部・共通部

トラック方式	4トラック2チャンネル
スピーカー	フルレンジ: 8cm、コーン型4Ω、2個
早巻き時間	約2分（ソニーカセットテープC-60使用）
周波数範囲	TYPE I（ノーマル）カセット 70 - 13,000Hz（JEITA*）
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 16 - 64Ω
実用最大出力	2W + 2W（JEITA/3.2Ω）
電源	本体用： 家庭用電源 （AC100V 50/60Hz） 単2形乾電池6個使用 （DC 9V） メモリー用： 単3形乾電池3個使用 （DC 4.5V） リモコン用： 単3形乾電池2個使用 （DC 3V）
消費電力	14W

電池持続時間

測定条件＼使用乾電池	ソニースーパー R14P	ソニーアルカリ LR14
テープ再生時**（JEITA）	約5時間	約20.5時間
FM録音時（JEITA）	約6時間	約27時間
CD再生時**（JEITA）	約1.5時間	約8時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

** 音量8分目程度

最大外形寸法	約283 × 165 × 281 mm （幅 × 高さ × 奥行き） （最大突起部含む）（JEITA）
質量	本体　約3.5kg ご使用時　約3.6kg （乾電池、CD、テープ含む）
付属品	リモコン（1） リモコン用単3形乾電池（2） 電源コード（1） 取扱説明書・保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）

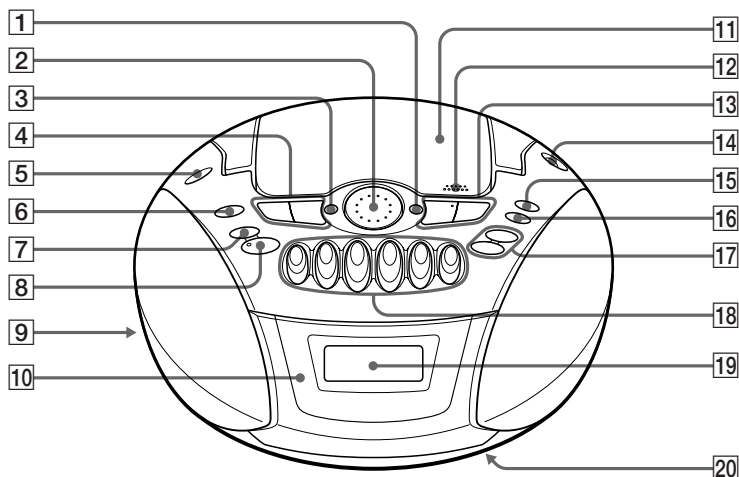
別売りアクセサリー

CDレンズクリーニングキット	KK-91
ヘッドイレーサー・クリーナー	HE-6C
クリーニングキット	KK-41

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

くわしい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体

1 表示切換•決定 メモリーボタン（16、18、20、21、23～27）

2 ジョグダイヤル（9、17、18、21、23～27）

3 メニュー•アラームボタン（23、24、25、26、27）

4 ◀◀、▶▶（サーチ）選局＋、－ボタン（10）

5 🎧（ヘッドホン）端子（ステレオミニジャック）

6 ラジオ バンド切換•オートプリセットボタン（10、20）

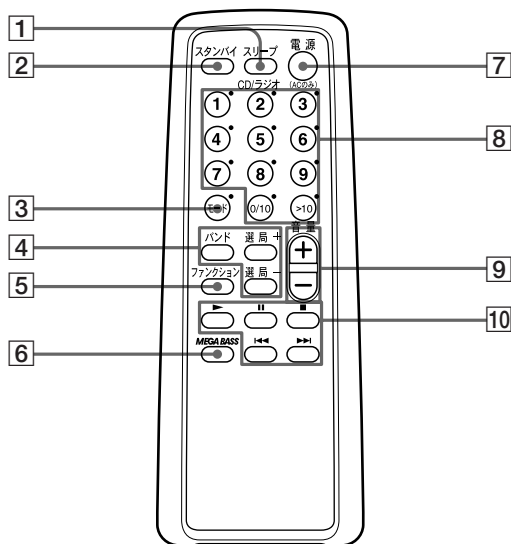
7 スタンバイボタン（24）

8 電源ボタン（9、11、13）

電源／電池ランプ（29）

9 AC IN 端子（29）

10 カセットぶた（12、14）

11 CDぶた（9）

12 ⏏押す開／閉（8）

13 CD操作ボタン

▶II（演奏／一時停止）（8、9）

■（停止）（9）

14 FM／TV用ロッドアンテナ（11）

15 モードボタン（11、15、17、18）

16 MEGA（メガ） BASS（ベース）ボタン（22）

17 音量＋、－ボタン（9、11、13）

18 テープ操作ボタン

●（録音）（15）

◀（再生）（12）

▶▶（巻戻し）（13）

◀◀（早送り）（13）

■⏏（停止/取り出し）（12、13、14、15）

II（一時停止）（13、15）

19 表示窓（16）

20 乾電池収納部（28、29）

次のページへつづく

リモコン

1 スリープボタン（26）

2 スタンバイボタン（24）

3 モードボタン（11、15、17、18）

4 ラジオ操作ボタン
バンドボタン（10）
選局＋、－ボタン（10）

5 ファンクションボタン
ボタンを押すごとに Cd → TAPE → RAdIO → Cd → ... と切り換わります。

6 MEGA（メガ） BASS（ベース）ボタン（22）

7 電源ボタン（ACのみ）（9、11、13、15）
本体を電源コード（AC）でお使いのときのみリモコンで電源を入れることができます。

8 数字ボタン（16、17、19、20、21）

9 音量＋、－ボタン（9、11、13）

10 CD操作ボタン

► （再生）ボタン（8）

❚❚ （一時停止）ボタン（9）

■ （停止）ボタン（9）

⏮、⏭（AMS（選曲）／サーチ）ボタン（9、16）

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ、ナ行

ハ、マ、ヤ行

ラ、ワ行

アルファベット順